



大 輪

発行：島根県社会福祉協議会内
島根県知的障害者施設保護者会連合会
松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根 5階
TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

VOL. 59

令和7年2月発行

「我が子、兄弟、姉妹のために」

島根県知的障害者施設保護者会連合会

副会長 持田 義公



2024年は、国内及び国外で大規模な自然災害の発生、争いの継続で多数の人が大きな悲しみ、苦しみを強いられました。2025年も年明けからアメリカ大統領の交代で次々と新しい方針が発表され多数の国々から関心が集まっています。また、気候変動による自然災害の発生、大地震による大きな被害も予想されています。

このような状況下にあって、我が子、兄弟、姉妹の暮らしはどうなっていくのでしょうか。難しいことを言えない彼らに代わり適切な要望の声をあげていくことが我々の役割と 생각합니다。少子高齢化、物価高騰、施設職員の成り手不足等々による彼らの暮らしの質の低下を招いてはなりません。少しでも楽しく暮らせるように願い、行動することが大切です。

県連合会、全施連、手をつなぐ育成会等々、たくさんの知的障がい者を支え守る組織があります。それぞれの組織が協力して我が子、兄弟、姉妹の暮らしがより良くなるように関係機関への働きかけを継続していくことが大事です。親なきあとの心配、成年後見制度の見直しなど不安なこともあります。まずは各々の施設で保護者会の活性化を図り、保護者会会員さんが意見を発言する場を設けることが重要と思います。

今は、困った時に相談できる場所もあります。同じ悩み事を抱えるそれぞれの施設の保護者会の仲間もいます。自ら求めていくことが大切ではないでしょうか。我が子、兄弟、姉妹が機嫌良く暮らす為に。

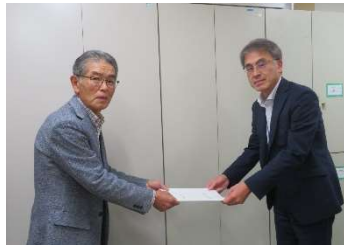


令和 6 年度知事要望書の提出及び意見交換会の開催

令和 6 年 10 月 15 日（火）に「令和 6 年度知事要望書」を福間会長から島根県健康福祉部障がい福祉課の吉川^{きっかわ}課長に提出しました。

今年度は①島根県福祉医療費助成制度の見直しについて②新型コロナウイルス感染症対策について③障害者支援施設職員の待遇改善についての 3 項目について要望を行いました。

12 月 18 日（水）に行った障がい福祉課との意見交換会では、上記の要望に対する回答について丁寧な説明をいただきましたが、概ねこれまでの見解を踏襲する内容でした。



< 要望書提出 >



< 意見交換会 >

地区懇談会を開催しています

会員保護者会・家族会のご意見を本会の活動に反映させるため、地区懇談会を開催しています。令和 6 年度は各地区で 2 回開催しました。

次年度も引き続き開催する予定ですので、ぜひご参加ください！



	東部地区	中部地区	西部地区	概 要
第 1 回	4 月 20 日 (土)	5 月 9 日 (木)	4 月 20 日 (土)	・役員の選出について ・意見交換 他
参加人数	7 名	7 名	6 名	合計 20 名
第 2 回	3 月 1 日 (土)	2 月 1 日 (土)	2 月 8 日 (土)	・令和 7 年度事業計画について ・令和 6 年度知事要望回答 他
参加人数	—	5 名	6 名	

研 修 会 報 告

令和6年9月21日（土）出雲市の朱鷺会館で、本会設立50周年記念事業として、一般社団法人 親なきあと相談室 関西ネットワークの藤井奈緒代表理事をお迎えし、研修会を開催しました。

『～障がいのある子とその“きょうだい”が笑顔で暮らしていけるよう～「今、私たちができること」「親なきあと」への備えについて』と題し、ご講演をいただきました。

「親なきあとは親がいなくなったあとではなく、自分の病気などで子どもの面倒がみられなくなる時点から始まる」「親なきあとのお金について」「人との繋がりがとても大事」などお話をいただきました。ご参加の皆さんからは、「とても共感できた」「財産管理等について聞くことができてよかった」などの感想があり大好評のうちに終わることができました。



令和6年度しまね県民福祉大会が開催されました

令和6年9月28日（土）くにびきメッセにて「令和6年度しまね県民福祉大会」を開催いたしました。

今年度は、清風園家族会の福間正人氏が「島根県知的障害者施設保護者会連合会会長表彰（功労者表彰）」を受賞されました。

永年本会の活動を支えていただきありがとうございます。



保護者さまからの寄稿

「くるみ祈幸会の思い出」



くるみ祈幸会 会長 小泉 義則

コロナ禍後から活動らしい活動は出来ていないですが、コロナ前は親子ふれあいの日や家族旅行、職員との懇親会や地区保護者会など沢山の活動をしていました。

春の祈幸会総会ではその年の行事の確認や新しい職員の紹介、秋の親子ふれあいの日にはミニミニ運動会をしたり、屋台での買い物を家族で楽しんだりしていました。



～ ミニミニ運動会 ～



～ みんなでパシャリ！ ～

親子旅行は日帰り、一泊と 2 回開催していました。関西方面、四国方面、九州方面、もちろん中国地方もですが、様々なところへ親子共々旅行を楽しみました。特に思い出深いのは別府温泉へ泊った時でしょうか。お城の見えるホテルで美味しい料理、美味しいお酒、子ども達のカラオケ、夕食は盛り上がり楽しい思い出として残っています。

新型コロナウイルス感染症が 5 類となった現在も過去のような活動が出来ていない状況ではありますが、少しずつ再開できるようになればと願っています。



～ 楽しい旅行の思い出 ～

施設保護者会活動



美野園家族会の活動について



美野園家族会 会長 飯田 明

平成8年9月1日、「美野園」は開園しました。美野園家族会は、翌年の12月7日に設立総会が開催されました。家族会が組織されてから、利用者互助会にも多くの会員が加入しております。

現在、昼間実施サービスは生活介護（定員45人）、生活訓練（定員6人）、就労継続支援B型（定員10人）です。グループホームはまなすは平成18年に開所し、現在は定員12人です。令和6年12月現在、家族会会員数は56人となっています。

家族会の活動は、新型コロナウイルス感染症の為、令和元年度後半より出来ておりません。以前は園内研修会を年2回行い、外部の研修会等にも参加していました。園内研修会後には、年1回懇親会を行いました。家族参観・懇親食事会として、年4回に分け、小グループで行ったこともあります。園内行事への協力として一泊・日帰り旅行、運動会、園まつり、クリスマス会等に参加しました。一泊旅行で大阪方面へ行ったグループもありました。

コロナ禍により、生命を守るために自粛期間が長くなりましたが、令和7年度からは以前の活動に近づけ、利用者一人ひとりの幸せと充実した人生の可能性を求めて、努力したいと思います。



地域連携推進会議をご存じですか？

地域連携推進会議は、「利用者と地域との関係づくり」「地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進」「施設等やサービスの透明性・質の確保」「利用者の権利擁護」という目的を達成するため、地域の関係者などの事業所外の方が参画する会議体です。



令和6年度障害福祉サービス等の報酬改定により、各事業所で「地域連携推進会議」を開催すること、会議の構成員が事業所を見学する機会を設けること（それぞれ概ね1年に1回以上）が令和6年度から義務付けられました。（令和6年度は努力義務・令和7年度からは義務）

この会議の構成員には、利用者本人、利用者家族、地域の関係者を必ず選出することが必要です。詳しくは厚生労働省作成の「地域連携推進会議の手引き」をご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001282617.pdf>



「地域連携推進会議の手引き」

全国知的障害者施設家族会連合会 全国大会開催のお知らせ

「全国知的障害者施設家族会連合会（全施連）全国大会」が、6年ぶりに下記のとおり開催されます。詳細につきましては後日、改めてご案内いたします。



日 時 令和7年10月21日（火）～22日（水）
場 所 鹿児島県鹿児島市与次郎1-8-10 サンロイヤルホテル
開催テーマ 知的障がい者の生涯を考える

～高齢化する家族と知的障がい者の生き方を探る～

